

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【公開番号】特開 2019-187595 (P2019-187595A)

【公開日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-044

【出願番号】特願 2018-81213 (P2018-81213)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 8 日 (2019.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する複数種類の示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、

いずれかの前記示唆演出が実行される場合、当該示唆演出が実行されるまでの所定期間を報知する報知演出を、第 1 態様と、前記第 1 態様とは異なる第 2 態様と、を含む複数種類の報知態様により実行可能な報知演出実行手段と、を備え、

前記報知演出において前記所定期間を報知した後、当該所定期間が経過するよりも前に当該所定期間の報知を認識不能とし、

同じ種類の前記示唆演出と、同じ前記所定期間を報知する前記報知演出と、が実行される場合であっても、前記第 1 態様で前記報知演出が実行される場合と、前記第 2 態様で前記報知演出が実行される場合とで、前記有利状態に制御される割合が異なる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

(手段 A) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、有利状態に制御されることを示唆する複数種類の示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、いずれかの示唆演出が実行される場合、当該示唆演出が実行されるまでの所定期間を報知する報知演出を、第 1 態様と、第 1 態様とは異なる第 2 態様と、を含む複数種類の報知態様により実行可能な報知演出実行手段と、を備え、報知演出において所定期間を報知した後、当該所定期間が経過するよりも前に当該所定期間の報知を認識不能とし、同じ種類の示唆演出と、同じ所定期間を報知する報知演出と、が実行された場合であっても、第 1 態様で報知演出が実行される場合と、第 2 態様で報知演出が実行される場合とで、有利状態に制御される割合が異なる、

ことを特徴とする。

(手段1) また、他の遊技機として、遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り遊技状態)に制御可能な遊技機であって、有利状態に制御されることを示唆する複数種類の示唆演出(例えば、予告演出A~C)を実行可能な示唆演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120におけるステップ105 IWS 216を実行する部分)と、複数種類の示唆演出のうちのいずれかの示唆演出が実行される場合、当該示唆演出が実行されるまでの所定期間(例えば、「10秒」、「20秒」、「30秒」)を報知する報知演出(例えば、図20-13(B)に示す報知表示105 IW003の表示)を実行可能な報知演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120におけるステップ105 IWS 207を実行する部分)とを備え、報知演出において所定期間を報知した後、当該所定期間が経過するよりも前に当該所定期間の報知を認識不能とする(例えば、演出制御用CPU120におけるステップ105 IWS 210を実行する部分)

ことを特徴としてもよい。そのような構成によれば、報知演出を実行する場合の演出効果を高めることができる。